

生きる力をはぐくみ 新しい時代を拓く 木津川っ子 を目指して

平成29年度 木津川市教育委員会

平成29年度木津川市児童・生徒の全国学力・学習状況調査結果

木津川市の各小・中学校では、子どもたちが未来の社会を自立し、豊かに生きていく基盤を育むため、全ての子どもたちに質の高い学力を身に付けさせるとともに、一人一人の能力、個性を最大限に伸ばす教育の推進に努めています。

子どもたちの健やかな成長のためには、子どもたちの現在の実態を直視し、学校・家庭・地域社会が連携し、地域ぐるみで子どもを守り育てることが大切です。

平成29年4月18日に実施された平成29年度全国学力・学習状況調査結果をもとに、木津川市の子どもたちの学力と生活実態の状況についてお知らせし、保護者の皆様の御理解と御支援をお願いする次第です。



1 調査の概要

(1) 目的 全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

(2) 方法 小学校：国語A・算数A(40分)、国語B(40分)、算数B(40分)、児童質問紙20分程度
中学校：国語A(45分)、国語B(45分)、数学A(45分)、数学B(45分)、生徒質問紙20分程度

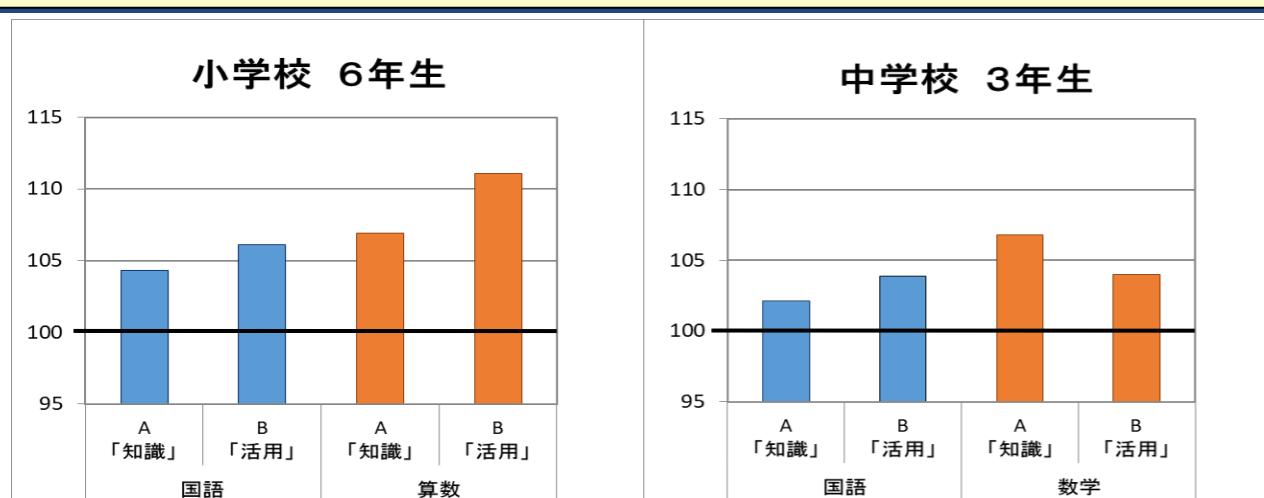
(3) 内容 A問題：主に「知識」に関する問題、B問題：主に「活用」に関する問題
児童・生徒質問紙：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

2 学力の状況

全ての教科で、市の平均正答率は全国平均を上回っています

本市の児童・生徒の平均正答率は、全ての教科において全国平均を上回り、特に、小学校の国語B、算数A・B、中学校の数学Aは、全国上位レベルに達しています。

今後とも、個々の児童・生徒に視点をあて、より質の高い学力の定着と、さらなる「知識」「活用」能力の伸長を目指していきます。



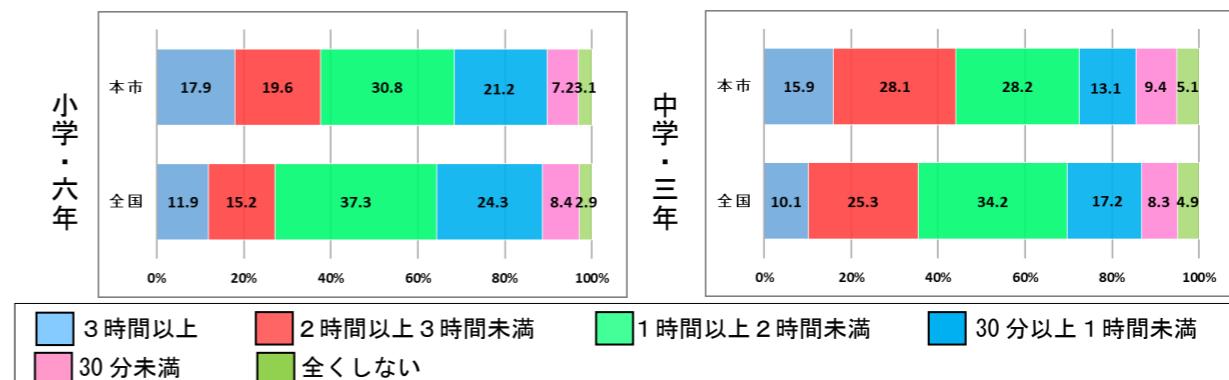
※ 学力調査グラフは、全国平均を100とし標準化した数値を表しています。

3 生活の状況

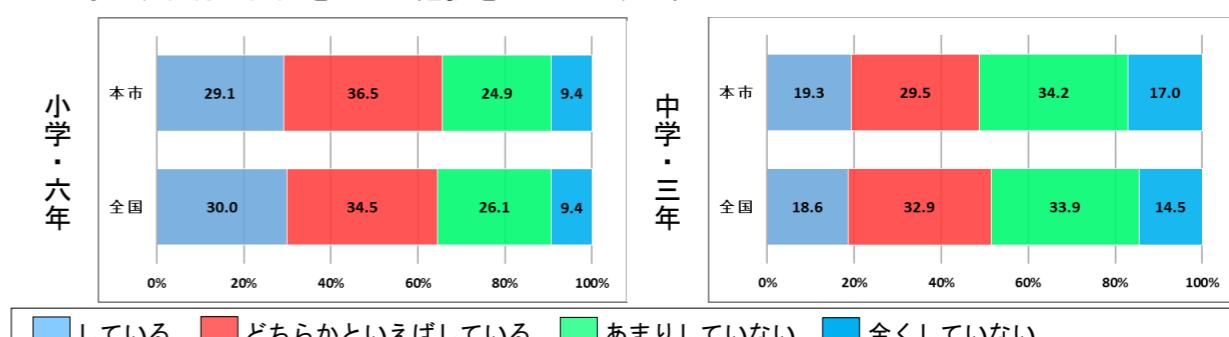
家庭での学習・読書の習慣化を

家庭での学習習慣の定着は、子どもたちの学力向上の源の一つであります。学校では、自ら学ぶ意欲の高まり、「学び方」の習得を目指して取り組んでいます。また、言葉を学び、感性を磨くとともに、表現力を高め、創造力を豊かなものにするため読書活動を奨励しています。学習習慣・読書習慣の定着を目指し、ご家庭での温かい励ましを今後ともお願ひいたします。

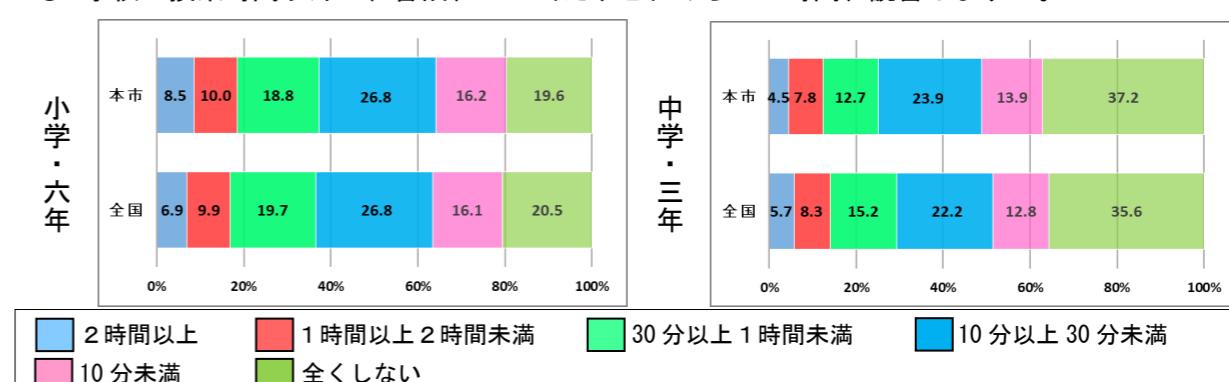
◎ 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。



◎ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



◎ 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか。



家庭学習・読書活動を推進するためには

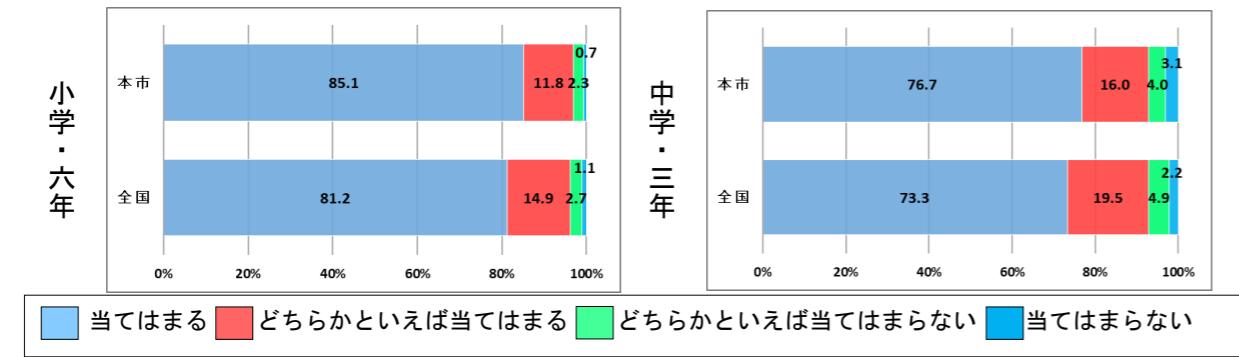
◎ 家庭との連携のもと、小学校低学年からの学習習慣の確立を目指した取組を推進します。
<『木津川市教育振興基本計画』より>

◎ 読書量の増加を目指します。「平日の1日の読書量が10分以上の児童・生徒の割合」及び「学校図書館や地域の図書館に月1日以上行く児童・生徒の割合」の向上を目指します。
<『木津川市子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）』より>

いじめに対する意識の向上を目指して

学校では、いじめアンケートや担任による児童・生徒との相談活動を実施し、丁寧に実態を把握し、対応できるよう努力しています。また、いじめの根絶に向けて、心のつながりの大切さを道徳や学級活動等を通じて訴え続けています。いじめの未然防止、早期発見・早期対応のためにはご家庭の協力が不可欠です。日頃から子どもとのコミュニケーションを大切にしていただき、悩み事等があれば相談できる環境づくりに、今後もご尽力ください。

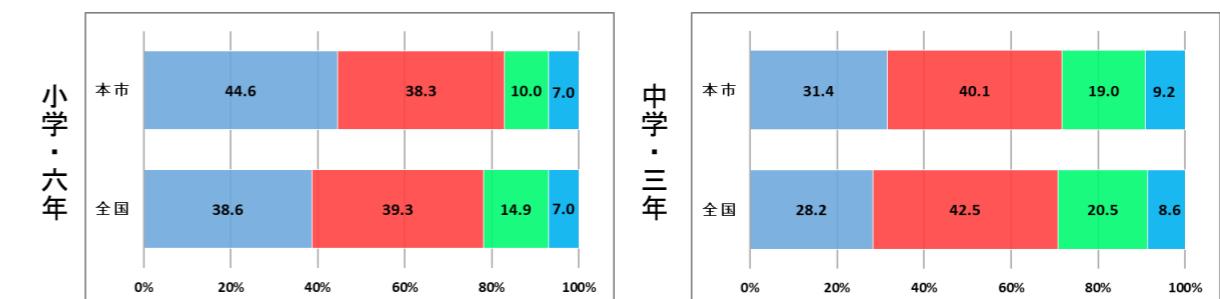
◎ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



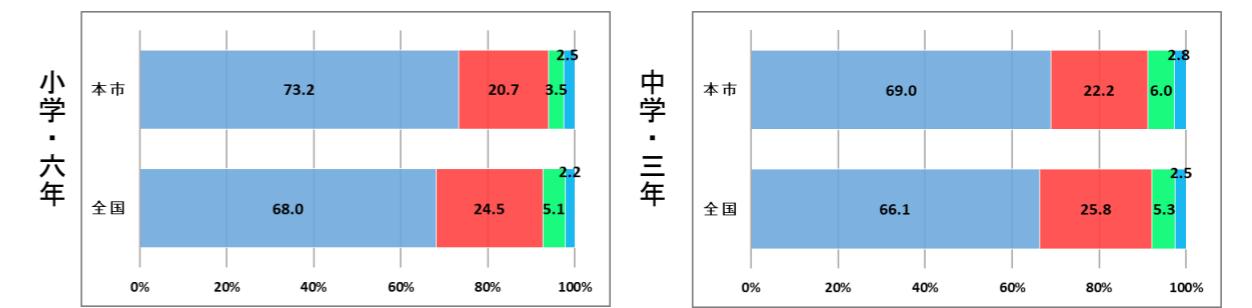
「自分が好き」と言える子に

「自分にはいいところがある」「自分は人の役に立っている」と感じながら過ごしている子どもほど、学習意欲が高く、いきいきと生活できることが調査結果からわかつてきました。「がんばりをほめよう」「いいところを認めよう」という周りの関わりがあつてこそ、子どもたちの自尊感情は育つています。家庭と地域、学校が協力し合って、「自分が好き」「友だちが好き」と言える子どもを育てていきましょう。

◎ 自分には、よいところがあると思いますか。



◎ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

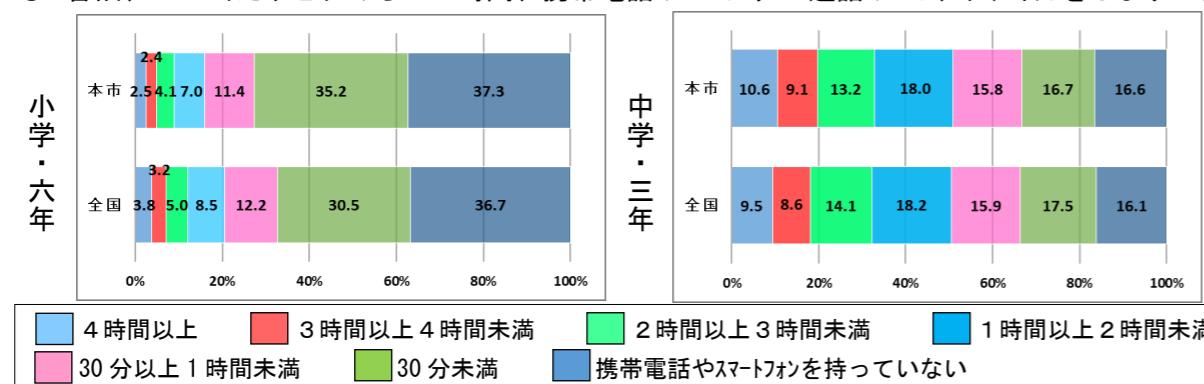


携帯電話・スマホのよりよい使い方を

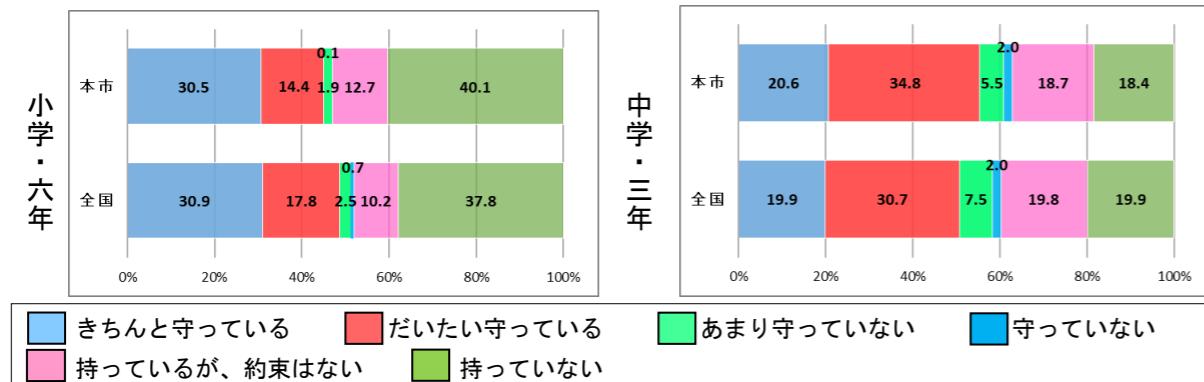
携帯電話やスマートフォンの所持率は、小・中学生とも増えてきて、長時間使用する子どももいます。そのため、携帯電話やスマートフォンをめぐるトラブルは後を絶ちません。

学校では、基本的に持ち込みを禁止するとともに、情報モラルに関する学習等を実施し、正しい使い方について学習しています。しかし、家庭でのルールづくりが何より大切です。ご家庭でも、携帯電話やスマートフォンの使い方について、適宜話し合ってみてください。

◎ 普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。



◎ 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家人と約束をしたことを守っていますか。



4 調査結果を踏まえて

木津川市では、下記の重点取組事項を中心に学力の向上を目指した取組を進めています。また、習熟の程度に応じた指導や発展的な学習・補充的な学習など個に応じた指導を実施したり、教職員の授業力向上の研修に取り組んだりしています。

保護者や地域の皆様の御理解・御協力のもと十分連携を取りながら、家庭における学習・読書習慣、生活習慣の改善に向けた取組をさらに充実させていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

木津川市における「学力をはぐくむための重点取組」

- ① 小学校「ホップアップ学習」、中学校「ステップアップ学習」等の補充学習の推進・充実
- ② 学力調査（全国・府・市）を活用した組織的な取組の充実と授業改善
- ③ ICT機器を活用したわかる授業の推進と児童・生徒の活用力の向上
- ④ あらゆる教育活動の場面で「ことばの力」をはぐくむ言語活動の推進